



型名 **WD-D10PBS** **WD-D10TR** **取扱説明書**

技術基準適合証明書

— お買い上げありがとうございます。 —

ご使用前に、この「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。本説明書をお読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときに読みください。

詳細な操作方法については、以下のWEBサイトの製品情報ダウンロードよりWD-D10シリーズの取扱説明書(PDFファイル)をダウンロードしてください。

<http://www3.jvckenwood.com/pro/avc/product/wd-d10/index.html>

設定ソフトウェアWD-ZS10について

本機の主な設定は、設定ソフトウェアWD-ZS10をインストールしたPCに本機を接続して行います。設定方法については以下のWEBサイトの製品情報ダウンロードよりWD-D10シリーズ取扱説明書(PDFファイル)およびWD-ZS10ユーザーズガイド(PDFファイル)をダウンロードしてください。

<http://www3.jvckenwood.com/pro/avc/product/wd-d10/index.html>

設定ソフトウェアWD-ZS10は以下のWEBサイトよりダウンロードしてください。

[http://www3.jvckenwood.com/pro/soft\\_dl/wd-zs10/index.html](http://www3.jvckenwood.com/pro/soft_dl/wd-zs10/index.html)

■機能割り当てメモ

本機各ボタンに割り当てられた機能を下表にメモしておくとう便利です。

ボタン	機能
機能1	短押し
	長押し
機能2	短押し
	長押し
一斉	短押し
	長押し

※長押しは約 秒

## 安全上のご注意

■絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際は、次の内容(表示と意味)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

**危険** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

**警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合はACプラグをコンセントから抜く)を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 危険

プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しない

引火、爆発の予防のためにご注意ください。

## 警告

空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認の上でご使用ください。

バッテリーパック、充電器、ACアダプターは、専用の機器以外には使用しない

落下などにより破損した部品には直接触らない

怪我の原因となります。

機械に巻き込まれる恐れのある場所では、コントロールマイクロホン等のケーブルを首にかけない

怪我の原因となります。

トランシーバーにストラップを取り付けるときは、ストラップを持ってトランシーバーを振り回さない

不注意により、トランシーバーが他人に当たり、傷つることがあります。

機械に巻き込まれる恐れのある場所では、ネックストラップを首にかけない

怪我の原因となります。

濡れたトランシーバーとバッテリーパックを充電しない

火災や感電の原因となります。

充電端子を金属等でショートさせない

火災・故障の原因となります。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

## 警告

指定以外の機器で充電しない

弊社製ポータブルトランシーバーWD-D10PBS、WD-D10TRおよびそのバッテリーパック専用の充電器以外では充電に使用しないでください。

バッテリーパックの破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となります。

布や布団で覆ったりした状態で充電しない

熱がこもり、ケースや部品が変形したり、火災の原因となります。風通しの良い状態でご使用ください。

不要になった電池パックは、一般家庭ゴミとして捨てない

電池パックは、最寄りの充電リサイクル協力店、弊社営業窓口または、代理店へお持ちください。捨てられた電池がゴミ収集車内などで破壊され、発火、発煙の原因となる恐れがあります。

高温になる場所(火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しない

火災、やけど、怪我の原因となります。

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどのときは、すぐに電源を切る

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなったことを確認して買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

お客様による修理・分解は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。

分解・改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電・故障の原因となります。

雷が鳴り始めたら、安全のため早めに電源を切り、充電器を使用の場合は電源コードを電源コンセントから抜いて使用を控える

雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

本製品はPHSと同様の周波数帯(1.9GHz帯)と平均出力(10mW以下)になっておりますが、医用機器のすぐ近くで使われることが想定される場合は、事前に十分な検証を行なった上で導入するようにしてください。

## 注意

外部端子には指定のコントロールマイクロホン、ケーブル以外は接続しない

故障の原因となることがあります。

アンテナの先端が目に触れないように注意する

ベルトクリップに指をはさまないよう注意する

本体が結露した場合は、結露がなくなるまで使用しない

自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして結露がなくなってから使用してください。

イヤホンの音量は上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

イヤホンをつけたままでポータブルトランシーバーの電源の入/切やプラグの抜き差しをしない

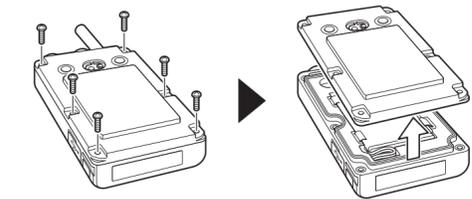
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

## ご使用前に

### バッテリーの取り付け/取りはずし

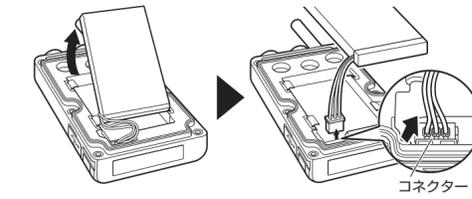
お受け取りのときに、本機にはすでにバッテリーパックが装着されています。バッテリーパックを交換する場合は、以下の手順で取りはずし、取り付けを行なってください。

1 本体背面のねじ(6本)を取りはずし、本体の背面カバーを取りはずす

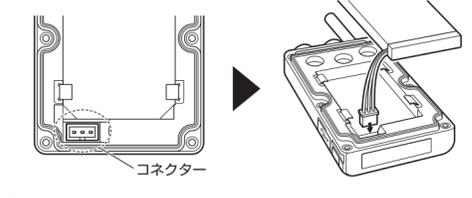


2 バッテリーパックを取り出し、バッテリーパックのコネクターを取りはずす

コネクターを取りはずすときは、コネクターの根元を持ってゆっくり真上に引き上げてください。

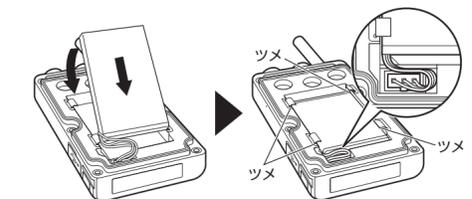


3 バッテリーパックのコネクターを本体のバッテリー接続コネクターに接続する



4 バッテリーパックのケーブルを図のようにまとめ、バッテリーを押し込む

ツメがバッテリーパックの上に出るまで、しっかりと押し込んでください。



5 本体の背面カバーを取り付け、ねじ(6本)を締め付ける

バッテリーパックを取り付けたあとは、バッテリーカバーを取り付け、ねじを締め付けて確実に固定してください。また、バッテリーカバーを取り付けるときは、微細なゴミ(微細な繊維、髪の毛、砂など)をはさんでいないか、ご確認ください。

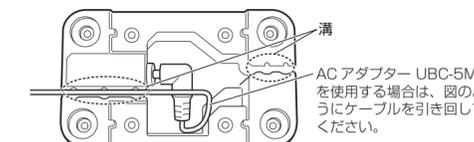
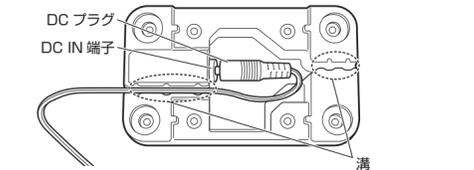
### 充電について

ご使用になるときは、あらかじめ専用充電台WD-C100CRで必ず充電してください。

#### ■バッテリーを充電する

1 充電台底面のブラケットを取りはずし、ACアダプターのDCプラグを充電台のDC IN端子に差し込みます。ブラケットの取り付け、取りはずしについては充電台WD-C100CRの取扱説明書をご覧ください。

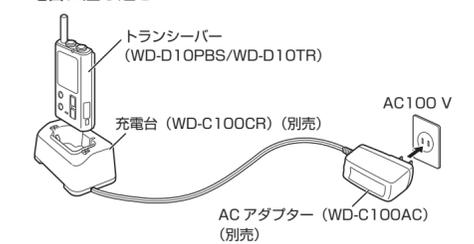
2 設置する場所に合わせて、ケーブルを左右どちらかの溝にはめ込む



※図では左側の溝にはめています。

3 ブラケットを元通りに取り付け、ACアダプターをコンセントに差し込む

4 バッテリーパックを装着した状態のトランシーバーを充電台に差し込む



トランシーバーの充電LEDが赤点灯して充電が開始されます。

- トランシーバーの電源が入ったまま充電台に差し込むと自動で電源が切れますが、安全のため、充電するときはトランシーバーの電源を切ってください。
- トランシーバーの金属端子が充電台の端子にしっかりと接触していることを確認してください。

充電が完了すると、充電LEDが消灯します。トランシーバーを抜き取ってください。

- 充電完了までにかかる時間のめやすは以下のとおりです。WD-D10PBS：約6時間 WD-D10TR：約5時間

#### ご注意

●本機を充電するときは、必ず専用充電台WD-C100CRを使用してください。

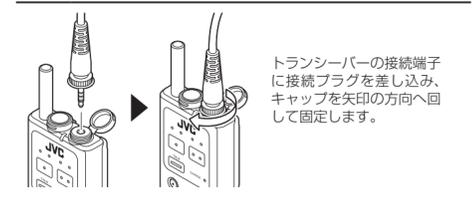
### コントロールマイクロホンの接続

別売のコントロールマイクロホンなどを接続します。

- 適合機種：WD-UM100 / WD-UM310

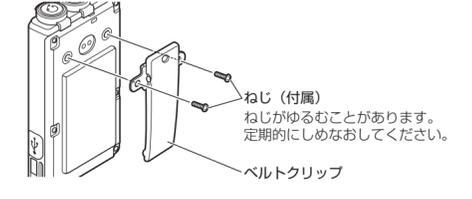
#### メモ

- ご使用前に、接続機器の取扱説明書を必ずお読みください。
- 必ず本機の電源を切った状態で接続してください。電源が入った状態で接続すると、保護装置がはたらき、本機での操作ができなくなります。コントロールマイクロホンやイヤホンマイクアダプターも動作しません。



### ベルトクリップの取り付け

付属のベルトクリップを使って、本機をベルトなどにつけて使用することができます。



### 親機に子機を登録する

本機は、親機となるポータブルベースステーションWD-D10PBSまたはベースステーションWD-D10BSに、子機となるトランシーバーを登録して使用します。ここでは、親機のポータブルベースステーションWD-D10PBSに子機を登録する方法について説明します。

#### メモ

- 子機として登録できるのは、ポータブルベースステーションWD-D10PBS(子機モードのみ)またはポータブルトランシーバーWD-D10TRです。
- 設定ソフトウェアWD-ZS10を使って子機を登録することもできます。詳しくは設定ソフトウェアWD-ZS10ユーザーズガイドをご覧ください。
- ベースステーションWD-D10BSを使った子機登録の方法については、WD-D10BSの取扱説明書をご覧ください。

1 親機および子機の電源が入っている場合は電源を切る

電源を切る方法については裏面の「電源を入れる/切る」をご覧ください。

2 親機の[一斉]ボタンを押しながら、[電源]ボタンを押す

登録モードで起動します。動作LEDが緑色に点灯し、グループLEDがすべて点滅します。

3 子機の[一斉]ボタンを押しながら、[電源]ボタンを押す

登録モードで起動します。動作LEDが緑色に点灯し、グループLEDがすべて点滅します。親機と子機が登録モードになると、自動的に登録が行われます。

## 注意

日本国外に持ち出さない

本機は日本国内用に設計されています。国外では利用できません。

使用しないときは

長期間ご使用にならないときは、電源を切ってください。

### 使用上のご注意

- 乾燥した場所でイヤホンを使用したとき、耳にビリビリとした刺激を感じることがありますが、これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるものでイヤホンの故障ではありません。天然素材の衣服を身につけるなど人体や衣服への静電気の蓄積を防ぐことで発生しにくくなります。

### 防塵 / 防水性能および使用環境について

- 本製品は設計段階においてIP67相当の防塵/防水性能の社内試験を行いその性能を確認しておりますが、実際のご使用にあたって、すべての状況で防塵/防水を保証するものではありません。
  - ※IP67(耐塵・防浸型)：水深1mの真水・静水に静かに沈め、指定以外の圧力を加えず、30分後に引き上げてても有害な影響がでない。
- 通常の使用状態でIP67相当の防塵/防水性能が維持できる期間は1年です。(端子カバー、バッテリーカバー装着時)
  - ※防塵/防水性能維持のための特別なメンテナンスプログラムは用意していません。
- 端子カバーやバッテリーカバーは確実に取り付けてから固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ(微細な繊維、髪の毛、砂など)をはさんでいないか、ご確認ください。
- 本機が濡れている状態で端子カバーやバッテリーカバーの開閉を行わないでください。
- スピーカー/マイク端子に専用オプションを接続して、付属のマイクプラグ固定金具で使用している場合の無線機本体はIP67の防塵/防滴仕様となります。なお、オプション自体の防塵/防水性能は各オプション製品により異なります。上記以外のオプションを接続する場合は、防塵/防水にはなりません。
- 付属の充電台やACアダプターは防水仕様ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵/防水性能に影響を与える場合があります。
- テレビやラジオ、パソコンなど電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯や冷水に浸けたり、かけたりしないでください。
- 医療現場での消毒について

トランシーバー本体の素材は「消毒用エタノール」の使用を考慮しています。消毒液での拭き取りなどは問題ありませんが、防水については保護等級範囲内で使用してください。

### WD-D10PBSを子機モードで起動する

WD-D10PBSは親機としても子機としても使用できます。子機として使用する場合は、以下の操作を行い、子機モードで起動します。

1 電源が入っている場合は電源を切る

電源を切る方法については裏面の「電源を入れる/切る」をご覧ください。

2 [機能1] ボタンを押しながら、[電源] ボタンを2秒以上長押しする

子機モードで起動します。音声ガイドが流れ、動作LEDが緑色に点滅します。

#### メモ

- 一度子機モードで起動すると、次回からは電源を入れるだけで子機モードとして起動します。
- 子機モードのときに再度同じ操作をすると、親機モードに変更できます。親機モードに変更した場合、音声ガイドが流れ、動作LEDが橙色に点滅します。

### 本機の使用周波数帯に関わるご注意

本機は、1.895.616 ~ 1.902.528 MHzの全帯域を使用する無線設備です。本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。本システムは、ARIB(一般社団法人電波産業会)の標準規格「ARIB STD-T101」に準拠しています。運用にあたっては電波法等、法律に基づいた運用が必要です。

#### ■電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

- 1 本機は、同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止した上、買い上げ販売店、またはお近くのサービス窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 2 その他、何かお困りのことが起きたときは、買い上げ販売店、またはお近くのサービス窓口にお問い合わせください。

1.9-D

